

青梅のにじ

〈発行〉

日本基督教団 隠退教職ホーム
にじのいえ信愛荘
運営委員会 須藤 繁

〒198-0052 東京都青梅市長淵2-687
電話：0428-22-2283 FAX：0428-22-2317
Eメール：nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

振替口座番号 00120-3-358467

加入者名：にじのいえ信愛荘

思いがけない平安

教団総会議長 石橋 秀雄



越谷教会ではクリスマス・
キャンドルサーヴィス実行委
員会があり、7ヶ月前から、
この礼拝の準備をします。7
月には説教題と聖書が決めら
れます。

バイオリンとビオラとチェ
ロのカルテットにソプラノと
ピアノに導かれた礼拝です。

今年のクリスマスの聖書の
箇所は、主の十字架の死の箇
所と致しました。説教題は
「思いがけない平安」です。主
イエス・キリストは馬小屋に
誕生しました。

「今日ダビデの町で、あな
たがたのために救い主がお生
まれになった。この方こそメ
シアである」と野宿をして羊

の番をする羊飼いにクリスマ
スの喜びが伝えられます。神
の言葉（律法）の外にあって、
神から遠い存在と思われてい
た羊飼いに真つ先に「救い主
誕生の喜び」が伝えられまし
た。まさかこんなところで、
エルサレムではないベツレヘ
ムで、荒れ野の中にある洞窟
の中で、馬小屋で神の業を見
て、「神をあがめ、賛美しなが
ら帰って行った」とルカ福音
書2章20節に記されていま
す。

「思いがけない平安」です。
羊飼いは思いがけないところ
で「神の業を見る」のです。

今年は東日本大震災があり
ました。あの凄まじい津波の
破壊の地に立って祈りまし
た。石巻で、大船渡で、大槌
町で、山田町で、宮古の地
で。そして、津波に飲み込ま
れた中に主イエスの死を見続

けました。

「イエスは大声を出して、
息を引き取られた。すると神
殿の垂れ幕が上から下まで
真つ二つに裂けた」。(マルコ
福音書15章37-38節)

著名な写真家は、この地獄
図の写真を掲載する中で、「神
様消滅」「今神の存在を疑う」
と記しました。神は死んだ。
三位一体の子なる神の死。そ
の時、「神殿の幕が真つ二つに
裂けた」。

主イエスは死んで墓に納め
られました。馬小屋と十字架
の死と墓、信じられないこと
ろで、神はいないと思える絶
望の中で神の業を見るので
す。主イエスの死と葬られた
墓、この絶望の底で「思いが
けない平安」を深く味わい知
らされます。主は復活された
のです。

(越谷教会牧師)



クリスマス特集

「キリストと共に」

ある喜び

土屋 恵子



主キリストが
貧しい姿で、

ひっそりと来てくださった。それは大変不思議なことでした。戦時下でも、危険にさらされながらも、全世界はクリスマスを忘れることは出来ませんでした。

戦争が終り、教会には多くの人々があつまり、私達の仕事も忙しくなりました。年齢を重ね、心身ともに弱ってきた私どものために、多くの信徒の方々が祈りをささげ、貴重な献金を捧げ、ふたつのホームを建ててくださいました。キリストと共にある喜びを持って、ふたつのホームの歴史は築かれました。今、ふたつのホームが共にひとつになり、「キリストと共に」ある喜びを証していくときがひらかれております。それぞれが培ってきた目に見える歴史はやがて跡形もなく消え去り、新しい復活の命

を与えられ、新しき住処に迎え入れられることを約束されている私達は、何をしたらよいかが今後の課題です。

青梅教会、河辺伝道所、恵み幼稚園のご協力も大変嬉しいことですが、ここにも教会、伝道所が必要だと思います。

福音を知らない人々とともに祈り、賛美し、福音の素晴らしさを伝えることこそ、私達に託された最後の大きな喜びではないでしょうか。

クリスマス

迎えるにあたり

吉田 トシ



私がまだ十代の頃、函館千歳

教会でのクリスマスが真つ先に懐かしく思い出されます。礼拝後ページェントをしてから、皆で会食した後キャロリングに参加し、雪の降る中を歌いながら問安しました。聖歌隊がとても盛んな教会でした。当時アメリカから来ていたワググナー宣教師宅での祝会も素敵な思い出です。

その後私は昭和18年に上京し、

当時の日本女子神学校に入り、渡辺善太先生のもとで神学を学びました。昭和22年に卒業後、招聘された北海道の日本基督教会の滝川教会では、残念なことに子どもが少なく、キャロリングなど出来ませんでした。

最後の招聘先が福島県の浪江伝道所でした。ここでも子どもが教会にいませんでした。ある時、イヴ礼拝をしたいと提案したら、教会員から「イヴの日は家庭でケーキを食べる日だから」と言われてしまいましたよ。(笑)それでもめげず5、6人でイヴ礼拝を守りましたけれど。

65歳で牧師を隠退して館山の「にじのいえ」にいました頃のことです。近くの南房教会が新会堂となって迎えたイヴの日に、最初少ない人数でクリスマスキャロルを賛美していると、やがて三々五々集まってきた、無事イヴ礼拝をささげることができました。何とその日に長い間教会から遠ざかっていた人が出席したのです。本当に嬉しく感動的でした。今ではその男性は南房教会の重鎮です。また、日頃交流がある児童養護施設「ひかりの子学園」のクリスマス祝会のページェントも可愛いらしくて

見事でした。

最後に、浪江伝道所の話に戻りますが、東日本大震災の被害に遭ったところです。実は大変辛いことに、かつて私がクリスマスに洗礼を受けた女性が、その後結婚し家庭を持っていたのですが、今回の津波の犠牲者になってしまったのです。かけがえのない3人の子どもと夫と親を残してね。彼女のことを思うにつけ悲しみに襲われます。

被災された皆さんに対する主の御慈しみを信じ祈る毎日です。

(談)

クリスマスー人類の一切

石坂 幸雄



私は現役の時、2年前、近

くのコンビニエンス・ストアへ行った。レジの全女性がサンタ爺さんの赤い帽子をかぶっているのに驚いた。しかし気付いた。「待てよ。キリストの救いとは私・石坂幸雄を始めとする一切の友キリストを含むのだ!」。

私は、今、突然、讃美歌366番を思い浮かべ、開いたら二度びつくり。私の受洗教会の霊

主キリストは「最初の夫婦アダム、エヴァによつて死の底辺まで堕ちた被造物の一切を救つて下さる」。「主キリストの救いとては、文字通り、人種・宗教・道徳・行為の一切を超えて、反キリストの先頭に立つ私、石坂幸雄を含む一切の被造物を救つて下さる」。私は、この原稿を依頼された故にこそ、無限に偉大な事実を悟られた。

唯々、感謝！

私は思い出す。第二次世界大戦というか、対米戦争に惨敗した1945年（昭和20年）以前のことを。

六人兄弟の私の家庭では、兄の次の私の姉二人、妹二人のうち、下の三人が全部、東洋英和女学院に通った。戦時中にもかかわらず。

すぐ上の姉は幼稚園の先生になりたいて考えていた。私はある日、登校する姉に対し両手を拡げて「とうせんぼ」すると、姉は、その下をかくぐつて出掛

けた二人の妹も東洋英和に通った。戦中にも理解ある両親に恵まれていた事を、今、やっと気づいた。この原稿のおかげである。ただただ感謝！

皆さん。讃美歌366番を、毎日、唱って、無限の力を頂こうではありませんか。



藤田小枝子

その年は12月
25日が主日でし

クリスマスに召された母

た。午前中、教会学校、主日礼拝を終え、午後は婦人会、青年会、夫々の祝会で多忙に過ぎました。夜遅くなつて家族のクリスマスを祝つたが、前夜母が脳梗塞を再発、月曜日には往診を予定してゐて重苦しい夜でした。12時頃、みんな床に就き、私は朝8時過ぎ目覚めると母の様子がおかしい。びっくりして腰が抜けてしまい、声をあげていると2階で寝ていた夫と息子が降りてきて、夫は「すまんことをしました」と泣きます。それまで義母である私の母を大切に、親切にしてくれていた夫に「あなたはすまんことなどしていません



安西 貞子

にじのいえ信

生きた教会とは

新しく入荘された方々

にじのいえ信
愛荘に入荘を許
されて1年を経ました。多くの
方々のお祈りとお支えをいただ
いておりますことを改めて感謝
しております。

私は、高校生の時に受洗しましたが、その時から開拓伝道をし

ん」と私が言うと、彼は「お母さんを看取れなかった」と更に泣くのです。私は泣くどころか驚きの余りどうすることもできずオロオロするばかり。弟や妹に電話をしようと思ってもダイヤルが廻せない。息子の義哉が代わってかけてくれました。

年が明けて1月10日、母が28年仕えた佐倉教会（戦前父と5年、戦後空襲のため小松川教会会堂と父を失い、妹の深香子と2人で仕えた）で、島津虔一牧師司式の下、多数の方と共に野辺の送りをしました。

時友だちに誘われ日曜学校に行き、それ以来「私はこの神さまを信じよう」と決心、この決心は86歳で召されるまで続きました。

「クリスマスの思い出」と依頼されて、母のことに終始してしまいました。然し、母がクリスマスに召されたことは、クリスマスの喜びと共に牧師夫人としての「有り様」を無言で教えてくれた母を想う日でもあります。

最後に往診された医師の、「この方は大往生でしたね」の言葉は悲しむ私の心の慰めとなっています。

手伝いました。後に教会になりましたが、伝道のむずかしさを知りましたので、神学校を卒業後もう少し訓練を受けたいと思い、大きい教会の担任教師にしていたできました。東京教区と東北教区の諸教会の主任と幼稚園で奉仕をさせていただき沢山の経験を得ましたが、その中で（なぜ牧師が代わる度に教会員が動揺するのだろうか）という疑問を持ちました。説教や牧会の在り方と教会員の自立等、教会の在り方について考え続けてきた

ことが隠退をしても続き、宗教改革やカトリック教会や東方正教会へとキリスト教の歴史を遡ることに興味を持ち、見学をして歩きました。今、日本の教会に対して韓国の教会から問われていますし、教団の問題を考えるにつけても、改めてプロテスタント教会の在り方を考えさせられています。

感謝につぐ感謝

加藤 鈴



今年3月末に、一新されて間も

ない「にじのいえ信愛荘」に入居させていただきました。お引越しの翌朝起き抜けに部屋のカーテンを引くと、外は緑一色、山の遠く近くからの鶯の囀り、真つ青な高い空がここでの生活の第一歩を迎えてくれました。「神様、ありがとうございます！と、ベランダに出て思わず両手を広げ、おいしい空気を胸いっぱい吸い込んだことでした。私ども日本では神奈川・東海教区の教会に仕え、宣教師としては香港・台湾・中国に遣わされました。夫々の地で新しい学びと主にある深い交わりをいた

だき、困難もありましたが、それにも勝る喜びと楽しい事もたくさん与えられました。それらの歩みのすべてが神様のご計画とお導きの中にあつたことを想い、感謝でいっぱいです。

そしてあの朝から7ヶ月。生活の節々で感じられます職員がたのご配慮とご労苦、朝の礼拝での御言葉と祈り、三度三度の食卓に溢れる調理のお心遣い、背後でお支えくださる教会の方々のお祈り等、まことに嬉しく感謝のうちに過ごす毎日です。

自己紹介 思いつくままに

伊藤 地塩



静岡県浜松市

美善教会で牧師

館の子として生まれる。兄の益實は神学専門学校在学中、満州へ出征その後、消息不明。私は青山学院高等女学部・日本基督教女子神学専門学校を卒業。

在学中は昭和20年ヤナセ自動車工場で塗装工として、朝8時から5時まで1年間勤務奉仕員とさせられた。

昭和23年補教師となり、横浜本牧教会牧師、そして横浜英和で3年間講師を兼務する。

東京横浜一帯は空襲で焼失、かまばこ兵舎が並ぶ米軍占領下、教会員の消息を訪ね歩いた。過労と栄養失調で結核を病み、5年間渋谷区広尾の自宅で静養しながら、33年正教師となり、豊分教会牧師兼幼稚園長に就任。日本基督教婦人矯風会の守屋東女史が創立した大東学園で7年間講師となった。その後、三軒茶屋教会、千葉県の安食教会において毎月礼拝説教を担当し、週日は白ばら幼稚園講師となつた。その交わりは今日まで続いている。

平成22年11月「にじのいえ信愛荘」に入居を許され今日に至る。現存の弟妹は、元千代田教会松野俊一牧師夫人のヤスコと日本基督教団海外派遣合同メソジスト教会伊藤秀美牧師がいる。

主のみこころの中、今日に至っている事、すべては感謝です。



自己紹介

長谷川 淳子



私は愛媛県出身で1956年

農村伝道神学校卒業。福岡の原教会で三年、群馬の渋川教会で一年、山形の東根伝道所で二八年担任教師として奉職しました。

その後一五年間の無任所時代を経て、2003年大阪の熊取伝道所に主任教師として招聘されました。そして2005年正教師試験を受け受按。最初招聘を受けた時、高齢を理由に断りましたが、再度の求めを受け赴任しました。

それから六年、私の心は祝福と平安に満たされると共に、心に重石を載せられました。その重石の一つは今も載せられたままです。それは教会員の方の姫の吉川友梨ちゃんが2003年5月から行方不明のままということ（当時9歳）。このことのために、私も熊取の人たちも今なお、祈り続けております。

私は2009年3月熊取伝道所を辞し隠退。今年6月に入社しました。聖日は青梅教会に出席、皆さんに暖かく迎えられ感謝しております。

近況報告

施設長 横山 利江

春

梅の花見どころではない春となり、
荘のガラス戸がガタガタと鳴るほどの
余震が続くなか、婦人会連合「にじの
いえ信愛荘協力委員会」の方々がガラスの飛
散を防ぐフィルム貼りを「ご奉仕くださり、
各居室家具の転倒を防ぐつっぱり棒の取
り付けなど具体化し、災害への備えが進
みました。

5月には消防署の指導を得て避難訓練
を実施、消火器の扱いを入荘の皆様も真
剣に実習しました。これで万全というわ
けではなく、今後も油断せず備えて行か
ねばなりません。

6月に入り長谷川淳子先生が入荘され
ました。計23人となります。

夏

節電モードの中、暑さが増してエア
コンを程よく使い、お食事也十分に
摂っていたが、厳しい夏との格闘です。
8月は来荘のグループも無く蝉しぐれの
毎日が続きます。

リハビリや定期健診で通院をするほか
は静かな夏の生活です。

お一人お一人この夏を乗りきることが
できました。

宮本信一先生は6月末の退院後自室で

秋

10月に入りA（めぐみ）棟の外壁改修工
事が始まりました。A棟は定礎19
87年以来24年目の化粧直しとなります。

昨年落成したB（のぞみ）棟から眺める
A棟は24年の汚れを否認ません。しかし、
担当業者いわく「青梅は空気がきれいだから
この程度ですんでいるんですよ」とのこと
でした。外壁のみならず細部の修復も
含め、クリスマスには美しく甦った姿を
みせてくれることでしょう。

10月22日伊藤藤卓江姉が入荘され計24人
の入荘の方々となりました。

最後に「にじのいえ信愛荘」の敷地内に
咲く花々を紹介します。

お花を愛し育てている方々が多く、季
節毎の花暦は心を和ませてくれます。今
コスモスが可憐に愛らしく、秋も深まる
というのに見事なヘブンリーブルー（洋種
朝顔）の青が目にも染みます。東側の垣根を
覆いつくして咲き乱れる様をお見せした
いほどです。見上げるほどに育った皇帝
ダリアの蕾が日に日に膨らんで大輪の開
花が待たれます。

有馬荘長は荘の庭に東屋のある風景を
思い描いておられるようです。

荘の皆様が心から寛げる「にじのいえ信
愛荘」となることを念じつつ。



10月25日ハーブガーデンレストランで秋の会食（飯能市）

歩みを導く者の居まして

加藤 実



「香港なら副産物として、逃

れて来ている中国の基督者の誰かと友達になれるかも。そしてその親戚など大陸残留信徒の誰かを通じた交わりの細い道でも拓けるかも」と思い廻らしたのが、平塚教会4年に次いだ二宮教会での2年目に「香港で日本人牧師を求めている」とNCC

ニュースに小さく報じられたのを見たときで、翌1968年にHongkong Japanese Christian Fellowship (香港日本基督教徒団契)に教団の宣教師として赴き、駐在商社マン・家族のフェローシップという名の教会形成に4年励みました。

「シンガポールか台湾か香港かの中国人社会で暫くでも生活したら、文革で破壊されかねないという古い文化を身体で感じておけるかもしれない」と思いついたのが、そこでの中ごろ中共系の映画館で、林豹たちが毛語録をふりかざして絶叫している宣伝映画を観ながらのことで、C Aの小さな奨学金を申請して

台北の台湾神学院に自由な研究生として2年学んだ後、淡水工商管理専科学校で日本語を中国語で教える仕事を10年続けることとなりました。その傍ら台湾の牧師がたの発起で始まった国際日語礼拝なるものを、毎週日曜日の午後台北でアレンジしていく教務として4年ほど仕えたり、後半には台湾基督長老教会の信仰に根ざした民主化の勇敢な闘いの実相を、日本の教会に正確に伝える密やかな働きに動いたりもしました。

「そうだ、大陸でも日本語を教える場が与えられたら、そこに居住し生活しながら教会の様子も分かっているかも知れない」と思い始めたのが、台湾12年の半ば過ぎでした。けれどもそうした想いは親しくなった台湾の先生方にも洩れせず、日本の誰かと手紙で相談するのも危険なところから、とにかくいったん帰国してからのこととし、結果としてトゥー・クツションズ置く事態となり、片瀬教会と信州教会とで計12年牧師職に任じられた後、96年にNCCから南京の愛徳基金会へ日本語教師として派遣され、そこから安徽省省都の合肥聯合大学に3年、南京の2つの学校に2年配属されま

した。

「この展示写真の説明や文書の内容を全部しっかり読んでおく責任が、中国語の読めるこの自分にある」とふつと強く感じて、合肥の博物館で開かれていた金陵(南京の古い呼称)祭で立ち止まり立ち止まりしつつ2、3時間、大虐殺の全容を大づかみにしたのが、大陸で働き始めた翌年の5月1日でした。その月末に南京の大屠殺記念館を初めて参観したのでしたが、出口の売店で『写真集の類よりも文字ばかりの方が自分には向いていそうだ』と、なぜかはつきり意識して買った2冊の内の1冊が、朱成山主編『侵華日軍南京大屠殺幸存者証言集』でした。なんとなくそれを翻訳し始め、2年後に『この事実を……』——「南京大虐殺」生存者証言集として出すのに、約束していた東京の某書房が右側勢力の高姿勢の前にびびったことから、「そうだ、中国で出版して日本へ輸入したら」と思いつき、南京大学出版社から刊行していただきました。

「さぞかし大変だったに違いのない抗日戦とその後の内戦期に、中国の基督者がどんな風に苦闘していたかが具体的に少しでも判ったら、それ以降の社会主義

社会での新たな展開へと繋がったかなど、多少なりとも理解されてくるのではないか」といった想いが、合肥や南京の教会で礼拝していて時折ふつと胸を掠めました。『生存者証言集』出版の過程で原文が英語の章開沉編訳『天理難容——美国伝教士眼中的南京大屠殺(1937-1938)』も訳すこととなり編者に了解を求めたところ、喜ばれた章開沉先生からご自分の研究所にどうかとの思いもかけぬお招きを得て2002年から武漢に移り、華中師範大学の中国近代史研究所で客座研究員として教授方のお手伝いをし、また中国の基督教に関わる文献の豊富な資料室で自由に学ばせていただき、5年後に帰国しました。

その2冊目の『この事実を……』②——「南京」難民に仕えた宣教師証言集も南京大学出版社で05年に本にさせていただきました日本へ運んだのですが、かなりの数の兄弟たちが読んで下さったものの、なお大量に売れ残ってしまった、某所に山積みしてあるのを早く何とかしなければなりません。

【箴言16章9節…人は心に自分の道を考え計る。しかし、その歩みを導く者は主である(口語訳)】

運営委員会報告

委員長 角谷多美子

「にじのいえ信愛荘」は皆様方のお祈りとお支えをいただき、無事に歩みを進めておりますことを心より感謝申し上げます。新しく入居なさった方もあり、現在24名の方が静かな日々を過ごしていらつしゃいます。毎月お誕生会があり、いくつかの教会や委員会がお訪ね下さる他、春秋には職員も含めて全員でお食事会に出かけるというお楽しみの時もあります。

運営委員会は毎月第4木曜日に西早稲田、キリスト教会館の会議室で開かれます。東京教区、西東京教区、全国教会婦人会連合の3母体から選ばれた11名の運営委員に陪席の荘長、施設長、事務長が加わり、現地の報告を聞き、にじのいえ信愛荘をよりよいホームにするために様々なことを協議します。和気あいあいと、忌憚なく話し合える委員会です。

入荘者には建物の周りを歩かれる方、お好きな花を育てて楽しまれる方等がいらつしゃいま

す。楽しく歩き、また園芸も楽しんでいただけるように建物の周りを整備し、お庭を整えること。築24年を超え、汚れの目立つA棟の外壁改修工事を行うことを7月の委員会で決めました。8月はお休みをいただき、9月には長期的な見地から検討を続けてきた「厨房を外部の業者に委託する」ことを決め、来年4月から実施できるように準備を進めております。

また、募金小委員会では7月9日、猛暑の中、チャリティコンサートを開催し、12月の国立劇場での歌舞伎公演の券を取次ぎました。

運営委員会が毎年2回発行している「青梅のにじ」の発送作業も、小委員会や全国教会婦人会連合のにじのいえ信愛荘協力委員会に連なっておられる方々が支えてくださっています。このような皆様方のご協力、ご支援、お祈りをいただかなければ「にじのいえ信愛荘」は運営していくことができません。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

チャリティコンサート報告

募金小委員会 西村 佳子

東日本大震災直後、コンサート開催は自粛すべきとのためらいの中で、合併後第2回目のコンサートが開かれました。7月9日(土)、東洋英和女学院マーガレット記念講堂にて、今年は酷暑中の猛烈に暑い日となっていました。ファンタジアのメンバーは、ピアノ・中村容子氏(銀座教会員)、ヴァイオリン・高橋 康氏、チェロ・高橋伸光氏の方々と、打ち合わせの段階から謙虚、綿密、献身的な関わりを持って臨んで下さいました。この暑さの中参集下さった聴衆約500人を、十分魅了する素晴らしい演奏を聴かせて下さいました。

案じられた計画停電も無く、ご来場下さった方々の事故もなく、多くの方々のご協力を得て実行できたことに感謝申し上げます。収益金約135万円はにじのいえ信愛荘運営費として、また東日本大震災救援募金箱に寄せられた10,120円は日本基督教団を通して捧げまし

た。今後とも皆様のお祈りとご協力をお願い申し上げます。

訃報

宮本信一先生(85歳)が11月16日午後1時24分、天に召されました。

ご葬儀は11月19日「にじのいえ信愛荘」にて、司式有馬歳弘牧師によって執り行われました。先生の天国で安らかなること、奥様の恵先生に主の慰めがありますよう、お祈りいたします。

あとがき

「青梅のにじ」も無事今回第4号を発行させて頂いただけでなくになりました。これも皆様のお支えがあつてのことと感謝いたします。

今回は前号の好評を取り入れて、在荘者の方々の記事を多く掲載させて頂いたいただきました。これは多くの「にじのいえ信愛荘」をお支えいただく方たちに、より身近に関りを感じ取っていただきたいとの気持ちから発想いたしました。今後もこの編集方針を継続していきたいと願っておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

(篠宮秀雄)

莊日記



施設長 横山 利江

▼4月

1日(金)有馬莊長引き継ぎの為来
 荘 宿直奉仕会田伶子姉
 8日(金)婦人会連合「にじのいえ
 信愛荘協力委員会」ガラス飛散
 防止フィルム貼り奉仕7人
 10日(日)東京教区西東京教区春季
 募前礼拝(田川くに姉納骨)
 11日(月)お花見会食(羽村の土手)
 18日(月)誕生会(宮本恵師 黒田
 愛子師 鷺見昌太郎師)、相談会
 20日(水)大里和子姉青梅総合病院
 入院
 21日(木)井上医院健康診断
 22日(金)宿直奉仕辻哲子師
 24日(日)イースター主日礼拝
 25日(月)「にじのいえ信愛荘」イ
 スター礼拝、祝会
 29日(金)大里和子姉退院 宿直奉
 仕阪口和美姉

▼5月

2日(月)定例お茶の会
 6日(金)宿直奉仕飯沢弘子委員
 13日(金)宿直奉仕尾野明子姉
 16日(月)防災訓練実施
 18日(水)泊江教会婦人会との昼食会

20日(金)宿直奉仕竹田佳地子姉
 25日(水)東村山教会婦人会来荘
 15人

26日(木)井上医院健康診断
 27日(金)宿直奉仕池田節子姉
 30日(月)誕生会(藤田小枝子姉
 安西貞子師 影山譲師)、相談会

▼6月

2日(木)ピアノ調律
 3日(金)宿直奉仕尾作聖子姉
 4日(土)植木手入れ岩戸五郎兄
 5日(日)宮本信一師青梅総合病院
 入院
 6日(月)定例お茶の会
 10日(金)宿直奉仕砂田巳智子委員
 17日(金)宿直奉仕辻哲子師
 19日(日)河辺伝道所CSと合同礼
 拝(花の日、子どもの日)
 20日(月)お花見食事会(吹上菖蒲
 園)
 21日(火)めぐみ幼稚園母の会 清
 掃奉仕10人
 22日(水)めぐみ幼稚園職員 礼拝
 奉仕(黒田愛子師 伊藤地塩師)
 23日(木)井上医院健康診断
 24日(金)宿直奉仕小中乃美子委員
 25日(土)植木手入れ岩戸五郎兄
 27日(月)誕生会(飛田悦子師 大里
 和子姉 池田貞子師 宮本信一
 師) 宮本信一 師退院
 28日(火)長谷川淳子師入荘

▼7月

1日(金)宿直奉仕朝岡瑞子委員
 4日(月)定例お茶の会
 6日(水)めぐみ幼稚園職員礼拝
 奉仕(嶺尚師 嶺澄子姉)
 8日(金)宿直奉仕金井弓子姉
 9日(土)にじのいえ信愛荘 チャ
 リティーコンサート(東洋英和)
 14日(木)経堂緑岡教会来荘9人
 15日(金)宿直奉仕会田伶子姉
 21日(木)鶴川教会来荘 17人
 22日(金)植木手入れ岩戸五郎兄
 宿直奉仕北島和子姉
 25日(月)誕生会(伊藤地塩師 吉田
 トシ師) 相談会
 28日(木)井上医院健康診断
 29日(金)宿直奉仕福島多恵子姉、
 濱田繁兄事務担当に就任

▼8月

5日(金)宿直奉仕石井幸子姉
 12日(金)宿直奉仕辻哲子師
 19日(金)宿直奉仕飯沢弘子委員
 25日(木)井上医院健康診断
 26日(金)宿直奉仕松田町子姉
 29日(月)誕生会(柏井宣夫師)、相
 談会

▼9月

2日(金)宿直奉仕浅見多恵子姉
 5日(月)定例お茶の会
 7日(水)めぐみ幼稚園職員礼拝奉

仕(安西貞子師 長谷川淳子師)
 9日(金)宿直奉仕池田節子姉
 15日(木)めぐみ幼稚園母の会 清
 掃奉仕10人

16日(金)宿直奉仕尾作聖子姉
 22日(木)井上医院健康診断
 23日(金)宿直奉仕砂田巳智子委員
 25日(日)東京教区西東京教区 秋
 季募前礼拝
 26日(月)誕生会(加藤鈴姉 石坂
 幸雄師)、相談会
 30日(金)婦人会連合問安21人 草
 取り、ガラス飛散防止フィルム
 貼り奉仕(午前中) 交わりの
 会(午後)

▼10月

3日(月)定例お茶の会
 5日(水)めぐみ幼稚園職員礼拝
 (長谷川淳子師 柏井雅子姉
 加藤鈴姉)
 7日(金)西東京教区婦人委員会
 8人 宿直奉仕朝岡瑞子委員
 14日(金)宿直奉仕松田町子姉
 18日(火)A棟外壁改修工事開始
 21日(金)宿直奉仕辻哲子師
 22日(土)河辺伝道所交わりの昼食会
 22日(土)伊藤卓江姉入荘
 25日(火)秋の会食(飯能市ハーブ
 ガーデンレストラン)
 27日(木)井上医院健康診断
 28日(金)宿直奉仕成松三千子委員